

研究分野		授業科目名				科目責任者	
環境生態系分野		疾病予防分子疫学特論Ⅱ				勝山 博信	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2		選択		2			
目的							
(1) 基礎医学, 社会医学, 臨床医学を包含した学際的知識を身につける。 (2) 骨代謝に影響する因子の分子機構を理解する。 (3) 骨粗鬆症, サルコペニアなどの疫学を理解する。 (4) 国際保健を展開するための仕組みや精度を理解する。							
授業到達目標							
(1) 骨代謝に影響する新規因子を検索し, その分子機構を説明できる。 (2) 学位論文を仕上げるための方法論を実践できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	隔週	火	17:00-19:00	勝山 博信	講義	[抄読会] [研究検討会]	複数教室合同の抄読会や研究検討会を充てる。英文文献の紹介を原則とする。 [場所:本館棟 6階第 12 カンファレンス室]
評価方法							
(1) 1年間※で, 講義は 30 時間出席し, 科目責任者から履修手帳に出席印をもらい, 提出する。 (2) 1年間※で, 論文紹介または症例発表を 2 回行い, その要約 2 編を提出する。 ただし, 特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものと異なる論文 (症例) であること。 ※ 2 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33 頁: 単位履修方法参照。							
課題 (レポート等) に対するフィードバック							
紹介論文の要約について, 添削して返却する。							
教科書							
特になし。							
参考書							
ISBN-9780199693474, Oxford Textbook of Public Health (5th Edition) , Roger Detels, et al., Oxford University Press, 2011							
準備学習 (予習・復習等)							
(1) 疫学的研究手法を予習しておくこと。 (2) 骨代謝に関連する文献・論文を次回までに読んでおくこと。 (3) 抄読会で質問があった内容などは復習して次回に回答すること。 およそ 2 時間の準備学習が必要。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究するための科学的思考法を習得するとともに, 他分野の研究者とも交流し, 幅広く知識を吸収する。							
注意事項・メッセージ							
文献紹介だけでなく, 研究に関する手技, 疑問, 方向性など何でも相談してください。							